

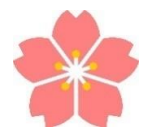


研修報告

12月7日に東京都障害者総合スポーツセンターで行われた「障害児・者の摂食・嚥下機能と介助・食形態について」という研修に参加してきました。

誤嚥と聞くと食事や水分を摂取した時に咽込む事や嚥する事等を想像していましたが、中には無症候性誤嚥といった、咽込みなどは見られていなくても誤嚥している場合があるそうです。問題なく咀嚼し、飲み込んでいっているように見えても誤嚥を引き起こしている可能性がある事を知り驚きました。また、楽しく食事をする上では、会話などを楽しみながら食事をした方が良いと感じていましたが、講師から「笑う事で誤嚥に繋がるリスクが高くなる為、会話をしながらも注意が必要」と話があり、常に誤嚥の危険性がある事を意識しなければいけないと改めて感じました。

給食を楽しみにしている利用者の方も多くいる中で、①【安全に】②【美味しく】③【楽しく食事ができる環境を作る】という事を考えていき、少しでも食事の楽しみを増やしてもらえようように日々努めていきたいと思えます。(記：清水(誠))



第三者評価結果報告

2018年11月に外部の方に依頼し、第三者評価「利用者調査」を受審しました。

第三者評価は、サービスの質の向上を図る有効な手段です。評価を行う過程で、日々の業務における課題を発見することや問題意識を共有化することができ、施設全体の質の向上が期待できます。また、提供する福祉サービスに関する評価を受けることで、現状を把握し改善すべき課題を明らかにすることができます。

今回は、入所・通所の利用者を対象に実施し、利用者の皆さんから多くの意見を頂きました。「おおむね満足している」と答えた方は、「施設は楽しい。支援員が優しい。よく話を聞いてくれる」等の意見を頂きました。要望、ご意見としては、「もっとトイレの数を増やしてほしい。職員の数が足りない。言葉の口調が強い人がある。」等のご意見を頂きました。一つひとつの声にしっかりと耳を傾けて、「一人ひとりにとって価値ある一日」となるよう、今後も改善していきたいと思えます。(記：森)

『第三者評価とは?…』

第三者の目から見た評価結果を幅広く利用者や事業者に公表することにより、利用者に対する情報提供を行うとともにサービスの質の向上に向けた事業者の取り組みを促すことで、利用者本位の福祉の実現を目指すものです。



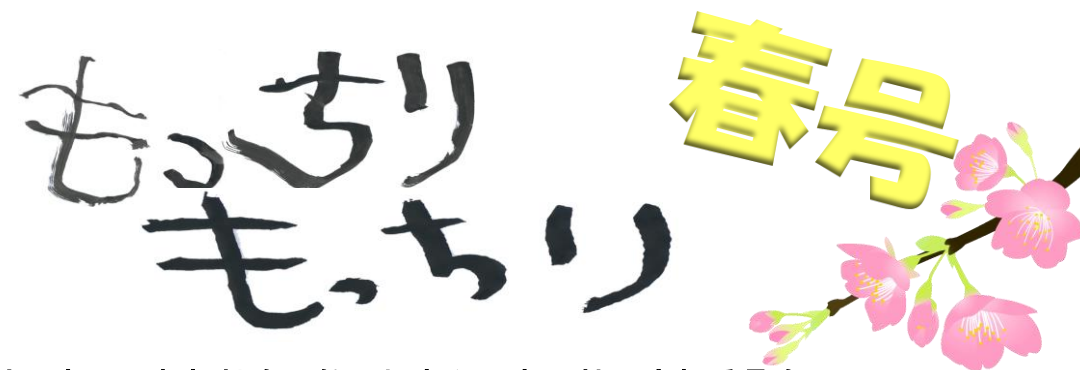
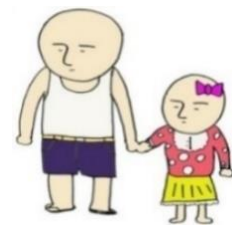
ボランティアさん募集

年齢・性別・経験は問いません。
興味のある方、楽しみたい方、ご連絡お待ちしております。
連絡先: 03-5654-7731(代)

■編集後記■

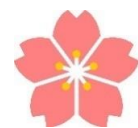
今年度最後の発行となりました。どの号も楽しんで頂けたでしょうか?

来年度も充実した広報誌を発行出来るよう、日々ネタ集めに奔走します! (記 大谷)



発行元：社会福祉法人あいのわ福祉会 竹の塚あかしあの杜 広報委員会
〒121-0813東京都足立区竹の塚7-19-11 TEL：03-5654-7731 (代)
FAX：03-3859-6655

発行責任者：三瓶善衛



三瓶施設長より

早いもので、平成30年度も残すところ3週間足らずとなりました。利用者の方々、家族の方々をはじめ、地域や関係者の皆様には、この1年間、当施設の運営に多大なるご理解とご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

駆け足の1年でしたが、年度当初に掲げたアクションプランの達成度について振り返ってみます。

【医療的ケアサービスを安全に提供するための体制整備】

医療的ケアサービスを提供する事業所として、法定研修の基礎研修を事業所内で開催し、6名の職員が研修を受講しました。すべての常勤支援員がこの研修を受講し、看護師と支援員の協働の下で、医療的ケアサービスを提供させていただいております。

【地域貢献活動】

地域との交流を深める機会として、7月に施設近隣にお住いのお子様たちを対象に交流行事「夏祭りお楽しみ会」を開催し、100名以上の方に来場していただきました。また、11月に近隣の小学校の生徒を対象に「車いす講座」と「施設見学」を開催しました。46名の生徒に参加していただき、障がい者支援施設で培った専門性を地域に還元することができました。

【ノーリフトの推進】

利用者・職員双方にとって、安心・安全且つ一人ひとりの状態に適した移乗方法を検証するため、専門委員会を中心にノーリフトの取り組みを進めました。その結果、新たに2台のリフトを居室に設置した他、数名の利用者が抱えからリフトの利用に介助方法を切り替えることができました。

【大規模改修計画の策定】

利用者にとって快適な住環境を提供できるよう、老朽化が目立つ施設設備の改修内容を検討し、改修計画を完成しました。

以上、1年間の主な取り組みを簡単にお伝えさせて頂きましたが、今後も利用者の皆様が安心して安全に施設生活を送り、一人ひとりの方にとって「価値ある一日」になることを目指して、工夫と改善を続けて参ります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。(記：三瓶)

ありがとう
ございました



平成30年度も素敵な思い出がいっぱいの一年になりました。



きずなより～施設入所支援～

早いもので平成30年度も終わりに近づいています。今年度は、笑顔多い心豊かな年になりましたか。私達の生活において食事を満喫する事が豊かなひと時なのではないでしょうか。その為、食事を楽しい雰囲気の中で利用者の方々に美味しく、そして喜んで食べて頂く為、第一食品さんが工夫した献立メニューを日々考えて下さっています。

毎月2回の選択メニュー（2つの中から1つを選択します）また、利用者からのリクエストメニューやご当地メニュー、そして、年3回のバイキングのように豊富なメニューを加える事で利用者からも笑みがこぼれていました。

今回のきずなでは、中華・忘年会バイキング、のぞみでは、韓国・クリスマスバイキングが開かれました。又3月には、きずな・のぞみ共にお花見バイキングを予定しております。次回のバイキングも利用者の方々にとって楽しい食事の時間になればと考えています。これからも充実した豊かな食事を利用者に提供できるよう努めていきます。（記：折原）



美味しい！！
バイキング



のぞみより～通所支援～

竹の塚あかしあの杜のぞみでは、1月1日から1ヶ月エントランスに約1m50cm×2m10cm（A3サイズ5×5枚）

の特大神社を版下加工・印刷を行い、手作り「しめ縄」と「鈴」をセットし、ペットボトル門松・賽銭箱を配置し「施設内のぞみ神社」を堪能しました。

去年の12月からCグループの利用者の皆様・支援員と一緒に取り組み完成させました。完成後は、神社の「大きい絵」を楽しんだり、設置用のコインを使って参拝時に「音」を楽しんだり、手で紐を引っ張り鈴を鳴らす感覚を体感しました。沢山の来訪者の方々からリアルなオブジェクトに「すごいですね」のお言葉を頂戴しました。（記：大津）



今年も楽しい
一年になりま
すように♪

